

第15回 草津市まち・ひと・しごと創生本部会議

論点整理資料

(1) 平成30年度総合戦略の指標および重要業績評価指標の実績値について

【重要報告案件】

資料1

【概要】

平成28年3月に策定した「草津市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、3つの戦略目標と7つの戦略プロジェクト(参考資料4、P8)を定めており、それぞれに目標となる指標やKPI(重要業績評価指標)を設定し、この指標等の達成に向けた事業(平成30年度:約115.2億円、102事業)を実施している。

総合戦略の取組の中には徐々に成果が現れているものもあり、今後においても目標達成に向けた取組を進めていく必要がある。

【平成30年度実績値の結果】

◆ 戦略目標	
1. 目標値(R1)を達成している指標	(2-2)
2. 前年度(H29)から上昇した指標	(2-1)、(2-2)、(3)
3. 前年度(H29)から下降した指標	(1)
4. 現状値(H26)から上昇した指標	(2-1)、(2-2)、(3)
5. 現状値(H26)から下降した指標	(1)

※(2)の指標のうち、「まちに誇れるもの(ブランド)があると思う市民の割合」を(2-1)、「JR草津駅・南草津駅乗車人員(年度間1日平均)」を(2-2)としている。

◆ 戦略プロジェクト	
1. 目標値(R1)を達成している指標	①、⑤
2. 前年度(H29)から上昇した指標	①、③、⑤、⑥
3. 前年度(H29)から下降した指標	②、④
4. 現状値(H26)から上昇した指標	①、⑤、⑥
5. 現状値(H26)から下降した指標	②、③、④

※⑤「観光入込客数」は暫定値(令和元年12月頃、実績値確定予定)。

⑦「健康寿命(平均自立期間)」は令和元年度末頃、実績値確定予定。

(2) 平成30年度地方創生関連交付金事業の効果検証について【審議案件】

資料2-1、2-2

【概要】

平成30年度における地方創生推進交付金と地方創生拠点整備交付金の「事業効果」と「今後の方針」について、外部有識者からの「事業の評価」を受けるにあたり、本市の評価を検証いただく。

「事業効果」と「今後の方針」の基準は、資料下段のとおり国から示されている。

【地方創生推進交付金】

事業名	「健幸都市くさつ」実現プロジェクト
事業効果	<u>地方創生に効果があった</u>
理由	KPI2項目で目標が達成でき、各事業の実施を通じて、地域資源を生かした健康づくりの推進を図ることができ、また、健幸都市宣言賛同企業・団体数の増加を図ることができたため。
今後の方針	<u>事業の発展</u>
理由	市民の健幸都市に対する認知度の向上や健幸なまちだと実感を持ってもらえるよう、引き続き健幸都市くさつ啓発事業等に取り組むとともに、新たに「草津・たび丸 kitchen」推進事業を展開していく。

事業名	ビワイチ推進プロジェクト
事業効果	<u>地方創生に効果があった</u>
理由	KPI達成状況は芳しくなかったものの、情報発信や受入環境等の整備に加え、PR動画の作成等に取り組むことで、地域の活性化に寄与できたため。
今後の方針	<u>事業の継続</u>
理由	サイクリストだけでなく、ファミリー層にもターゲットを広げるため、多くの方が自転車に親しんでいただくきっかけとなるイベントの実施やビワイチコースやイベント情報をホームページへ掲載するなど、引き続き、地域経済の活性化につながる取組を進めていく。

【地方創生拠点整備交付金】

事業名	常盤学区における地方創生拠点整備プロジェクト
事業効果	<u>地方創生に相当程度効果があった</u>
理由	KPI2項目で目標を達成でき、常盤まちづくりセンターを活用したコミュニティビジネスの実施、事業内容の検討のため、視察研修の実施を通じて、機運の醸成を図ることができたため。
今後の方針	<u>事業の継続</u>
理由	常盤まちづくりセンターを拠点とした農業振興や地域活性化に資する事業等を、地域の協力のもと実施するとともに、先行事例地への研修・講演会の開催等を進めていく。

(3) 令和元年度地方創生関連交付金事業について【重要報告案件】

資料 3-1、3-2

令和元年度においても、以下の地方創生推進交付金事業を引き続き実施する。

なお、令和元年度に実施している事業の評価は、令和2年度において、(2)と同様に「事業効果」と「今後の方針」について、草津市まち・ひと・しごと創生推進懇話会において検証いただく予定をしている。

地方創生推進交付金

- (1)「健幸都市くさつ」実現プロジェクト
- (2)ビワイチ推進プロジェクト

地方創生拠点整備交付金

- (1)常盤学区における地方創生拠点整備プロジェクト